

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	第1回武蔵村山市産業振興ビジョン策定懇談会
開 催 日 時	令和3年1月22日(金) 14時00分～15時30分
開 催 場 所	武蔵村山市役所 中部地区会館3階 301会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：徳増委員、田中委員、栗原委員、内野委員、小野寺委員、 石川委員、中澤委員、須崎委員、斎藤委員 欠席者：松原委員 事務局：協働推進部長、同部産業観光課長、同部産業観光課商工 係長、同部産業観光課商工係主事、コンサルタント会社 ((株) 地域計画建築研究所)
議 題	1 開会 (1) 委嘱書の交付 (2) 委員及び事務局の自己紹介 2 報告事項 (1) 武蔵村山市産業振興ビジョン策定懇談会設置要綱について (2) 武蔵村山市産業振興ビジョンの策定概要とスケジュールについて 3 議題 (1) 武蔵村山市産業振興ビジョン策定懇談会座長及び副座長の選出 について (2) 武蔵村山市産業振興ビジョンに係る事業者及びアンケート(案) について (3) その他 4 閉会
結 論 (決定した方針、残 された問題点、保 留事項等を記載す る。)	議題(1)について： 座長は徳増委員、副座長は田中委員に決定する。 議題(2)について： ・デジタル化、脱炭素化、業態転換のテーマについては、製造業調 査票の設問25、非製造業調査票の設問20等の関連設問の選択 肢に項目を追加し、非製造業の調査票の4頁以降の設問項目を白 抜き表示に、問18の選択肢3番を「3. 営業・販売力の強化」 に修正した上で、アンケートを決定する。 議題(3)について： 「武蔵村山市産業ビジョン策定懇談会の会議の公開に関する運営要 領(案)」のとおり決定する。
審 議 経 過 (主な意見等を原則 として発言順に記 載し、同一内容は 一つにまとめる。) (発信者) ◎印=座長 ○印=委員 ●印=事務局	1 開会 (1) 委嘱書の交付 (2) 委員及び事務局の自己紹介 2 報告 (1) 武蔵村山市産業振興ビジョン策定懇談会設置要綱について事務局 より、資料1に沿って説明。 (質疑) 特になし。 (2) 武蔵村山市産業振興ビジョンの策定概要とスケジュールについて 事務局より、資料2、資料3及び資料4に沿って説明。 (質疑) 特になし。

3 議題

(1) 武蔵村山市産業振興ビジョン策定懇談会座長及び副座長の選出について事務局より、資料1に沿って説明。

(質疑)

- 事務局案があれば提案いただきたい。
- 事務局としては座長に徳増委員、副座長に田中委員を推薦したい。

(結論)

座長に徳増委員、副座長に田中委員に決定する。

(2) 武蔵村山市産業振興ビジョンに係る事業者及びアンケート(案)について

資料5、資料6、資料7、資料8及び資料9に沿って説明。

- ビジネスや社会における主な関心事は3つあると考えている。1つ目はデジタルに対する取組、2つ目は在宅勤務を中心とした新しい働き方、3つ目は脱炭素化への取組であるが、それらのテーマにも触れたほうが良いのではないか。
- ◎ デジタル化については働き方改革にもつながる。また、他地域ではデジタル商店街づくりに取り組んでいる事例もある。これらのテーマについては、ヒアリング調査で意見を聴取していくと良い。
- 支援機関によるコロナ対策支援で最も需要が高いのは、業態転換支援である。主に非製造事業者からの申込が多い。そのような動きを踏まえて、非製造業では現業態からの横展開をどのように考えているかを聞いてはどうか。また、これまで「選択と集中」のもと、技術を高めて事業を拡大してきた製造業についても、コロナ禍においては一企業や特定の産業に注力することがリスクに成り兼ねないため、複数の産業に網をかけておく等の横展開について質問すると良いのではないか。デジタル化、脱炭素化についても質問した方が良いと考える。
- 消費者の立場から実際に、市民向けアンケート調査票(案)を回答・記入してみたが、設問項目、選択肢も多く回答しやすかった。とても良いものに仕上がっていると考える。
- 農業分野では「フードマイレージ」が一般的となっており、低炭素化に向けて、トラック等の輸送コストを減らす地産地消が推奨されている。以前は産地から農産物を大量に輸送し、安価に提供することが主流だったが、現在は市民の間でも地場産の農産物を新鮮で美味しい間に食べるといった考えに変わりつつある。生産者もそれを実感している。
- 全国規模のアンケートが多い中、製造業の調査票案をみると、地域に絞った設問も多くあって良い。
- 観光面では、2021年1月に武蔵村山観光案内所が開設されたばかりである。まずは周知を図り利用してもらえるようにしたい。現在はコロナ禍のため、人が集まる事業は実施できていない状況にある。アンケート調査に含まれている観光関連の設問に対する回答結果をみて参考にしていきたい。
- 回答結果をどのように分析するかが最も重要である。調査結果を読み取ってビジョンに反映していく際、アンケート結果からかけ離れたものになってはいけない。調査結果をどのようにビジョンに反映していくか、その方法についても考えたほうが良い。
- 調査票案の表記を修正すべき点がある。非製造業の調査票の4頁以降の設問項目を白抜きにする。また、問18回の選択肢3

	<p>番が「3. 営業・販売力の」で切れているので修正する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4頁以降の設問項目は白抜きにする。問18の選択肢の3番は、「3. 営業・販売力の強化」に修正する。 ○ 調査票は、全体的に設問が多岐に渡っており、事業所を把握するには良い構成になっている。 ○ 回収率を上げるための工夫も考えたほうが良い。 ○ アンケート調査を通じて企業の考え方を把握できると、今後の商工会活動を検討していく上でも参考になる。 ◎ 回収率は想定しているのか。督促状を送付する予定はあるか。 ● 督促状の送付の予定はしていない。回答率を見ながら何らかの対応策を探っていきたい。 ○ 企業には多くのアンケートが送付されてくるため、すべて開封しないこともある。企業が封筒を開封してくれる工夫が必要である。 ○ 産業支援機関が実施するアンケート調査では回答率を上げるため、企業への架電や手紙送付により協力依頼をすることもあ。また、調査票の送付封筒に調査の趣旨・回答締め切り期限を記載し、企業が関心を持って開封してもらえるよう工夫をしている。 ◎ 調査費の予算もあるので取り組めることに制限はあるが、できる範囲の中で工夫していただきたい。 ● アンケート送付封筒は目立つように、調査趣旨及び回答締め切り期限の記載を検討したい。 ● デジタル化や脱炭素化のテーマについては、個別に設問を設けることは難しいが、製造業調査票案のP6問25、非製造業P6問20の今後の事業活動に関する設問の選択肢に対象となる項目を追加する。 <p>(結論)</p> <p>アンケートの内容を一部修正し、決定する。</p> <p>(3) その他</p> <p>ア 第2回懇談会の開催日程について事務局より、資料3に沿って説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第2回懇談会の開催は、資料3の記載とおおり6月上旬を予定する。後日、日時等は調整し、各委員に通知する。 <p>イ 会議の公開等について事務局により資料10、資料11に沿って説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 当会議の公開を承認いただき、「武蔵村山市産業ビジョン策定懇談会の会議の公開に関する運営要領(案)」を定めていただきたい。 <p>(質疑)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 資料11の「市附属機関等の会議及び会議録の公開に関する指針」の第3条に、会議の公開の可否は議長が会議に諮って決定するとあるので、委員の意見を踏まえて決定したい。 ○ 会議で特定企業の企業情報に関する話が出た場合の対応が必要である。 ◎ 企業の個別情報等が含まれる場合は非公開とする等の対応を講じ原則としては会議を公開する。 ○ 異議なし。 ● 会議録は、特定の事業者や個人名等は記載しない。さらに、委員の発言も個人が特定できないように匿名とし、武蔵村山市のホームページで会議録を公開する。なお、会議録は公開前に委員の確認・承認を得る。 ◎ 承認の手続きはどのようにするのか。
--	--

- 後日、事務局より各委員へメールにて送付し、確認及び承認を得る。

(結論)

資料12の案のとおり決定する。

(委員からの意見・まとめ)

- ◎ 第一回懇談会全体を通しての意見を一言ずつ述べていただきたい。
- 武蔵村山市を良くするため、懇談会では建設的な意見を積極的に発言していきたい。
- 年間100社ほど東京都内の中小企業を訪問しているが、武蔵村山市にはしっかりした工業集積地があり、元気な製造企業が立地して市内の経済を支えていることを実感している。
- 会議に参加して市民のために取り組んでいる武蔵村山市の取組が知ることができて良かった。
- 懇談会を通じて市民と自身のために取り組んでいきたい。
- 近隣の食品製造業の直販所等を巡るツアーを消費者が独自に考えて組み立てているという話を聞いた。市内の特色ある企業や農産物を観光とつなげていくと面白いのではないか。
- ◎ 工場の観光ツアー等があると面白い。学生も工場を見学できる機会は多くないのであると良い。
- 食品製造業の工場はセキュリティ要件が高くなっており、工場見学を実施するには、見学専用通路の整備する必要がある。食品製造業者としては実施したいがなかなか実現できないのが現状である。
- 武蔵村山市ではロケーションサービスを推進している。以前、市内の食品製造業の工場がテレビで紹介され、大きな反響を呼んだ。今後もメディアでの紹介を進めていきたい。また、自然に恵まれており、温泉、遊歩道、サイクリングロード等がある。また、人気があるオートキャンプ場やバーベキューができる施設等に関連する事業者の誘致を図ってもいいのではないか。
- 一般的に商業というと物販のイメージがあるが、武蔵村山市内で物販業を営んでいる事業者は減っているのではないか。また、まちの発展とともに元気がなくなっている業種もある。市外から移転し、土地を購入して事業を始めようとする人は多くはないだろうが、まちの将来像がはっきり見えてくると、関心を持つ事業者も出てくる可能性がある。
- 工業に関しては、伊奈平周辺は工業地帯であるが道路が狭く課題となっている。大型トラックが通れないため空地が出ても購入や借地に至らない。早く道路環境の対策をしてほしい。
- 新型コロナウイルス感染症の影響に関しては、過去1年間ぐらいで、武蔵村山市商工会会員の飲食業者で倒産したところはない。その要因として、武蔵村山市内で飲食や買い物をすべて済ませる「市内完結型」の消費行動にあると考える。武蔵村山市は市内で一致団結しているところが良いところである。そのため、市外に出ていく事業者も少ないのではないか。
- 行政計画は長期スパンのことが多い。さらに、スピーディに動けると良い。

4. 閉会

会議の公開・ 非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>
-----------------	---

傍聴者： _____ 0人

会議録の開示・ 非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示(根拠法令等： _____) <input type="checkbox"/> 非開示(根拠法令等： _____)
------------------	---

庶務担当課	協働推進部 産業観光課(内線：227)
-------	---------------------

(日本工業規格A列4番)